

6 地域包括支援センター活動報告

(1) 相談活動

年度	方法			内容(重複あり)						経路			
	来所	電話	その他	介護保険	認知症	福祉サービス	権利擁護	健康	その他	本人	家族	民生委員	その他
H28	549	908	59	659	320	176	91	203	166	243	745	134	365
H29	612	918	82	877	346	196	98	175	161	213	825	156	452
H30	539	889	103	734	356	137	91	265	185	249	768	178	387

・介護保険の利用や認知症についての相談が多くなっている。

【参考】高齢者虐待新規相談・受理件数 ※前年度より継続的に支援しているケースは除く。

新規相談・通報受理件数	H28	H29	H30
		26	20
高齢者虐待と判断した件数	15	11	18

(2) 訪問活動

年度	事業対象者(二次予防・通所サービスC)		65歳以上高齢者			その他・65歳未満		権利擁護・虐待			
	実	延	実	延	実態把握(再掲)	実	延	虐待		成年後見	
								実	延	実	延
H28	138	236	802	1,433	389	12	30	52	94	32	92
H29	158	193	902	1,680	371	8	14	59	104	18	53
H30	99	114	1,069	2,005	825	4	4	39	62	17	46

事業への参加動員を兼ねた実態把握訪問が多くなっている。

(3) 介護予防支援・介護支援専門員支援・その他

年度	介護予防支援					介護支援専門員支援			
	訪問		電話	担当者会議	プラン確認	相談	同行訪問	ケース会議	連絡会
	実	延	回数	回数	件数	件数	件数	回数	回数
H28	444	1,583	618	470	505	264	58	86	27
H29	385	1,510	744	398	687	229	96	97	38
H30	457	1,489	739	417	721	322	82	94	33

(4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理数

年度	(延べ件数)		
	直営	委託	合計
H28	1,339	3,424	4,763
H29	1,237	3,656	4,893
H30	1,187	4,080	5,267

年々、要支援認定者の増加に伴い、件数が増えている。

(5) 元気応援サービス

H28年度から介護予防・生活支援総合事業として実施

区分	件数	事業費
元気応援訪問サービス	1,505	30,201,243
元気応援通所サービス	2,176	53,428,759
高額元気応援サービス	32	62,001
合計	3,713	83,692,003

※介護保険給付費の「介護予防訪問介護」、「介護予防通所介護」及び「高額介護予防サービス等費」に相当するもの。

(6) 元気応援教室(通所サービスC)

※H28年度から元気応援通所サービスCとして実施

実施地区	H28			H29			H30		
	実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数
村上地区	30	26	616	30	31	553	24	30	677
荒川地区	36	19	299	32	26	336	28	11	210
神林地区	30	20	257	25	15	257	25	15	287
朝日地区	30	28	341	25	18	342	25	12	255
山北地区	24	31	251	24	24	252	20	20	377
合計	150	124	1764	136	114	1740	122	88	1806

複合型プログラム(運動・口腔・栄養)で実施。基本チェックリストで生活機能低下がみられる65歳以上の人が対象とし、要介護状態にならないように。

7 一般介護予防事業（主な事業）

（1）元気応援教室卒業生の教室

介護予防プログラム名	実施地区	H28			H29			H30		
		実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数	実施回数	参加実人数	参加延人数
しゃっきり教室	村上地区	10	40	313	10	44	336	10	50	424
元気のみなもと教室	荒川地区	20	16	127	16	17	106	16	10	123
足腰しゃんしゃん教室	神林地区	48	44	735	48	46	753	40	46	636
元気もりもり教室	朝日地区							20	17	240
合計	3地区	78	100	1175	74	107	1195	66	106	1183

（2）元気クラブ（認知症予防）

（3）介護予防教室（転倒予防教室）

	「元気クラブ」：脳活性化プログラムにより認知症を予防する						「介護予防教室」：転倒予防のためのプログラムを展開し、運動機能の向上を図る。					
	H28		H29		H30		H28		H29		H30	
	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数
村上地区	20	374	21	347	20	368	581	5,795	615	5,991	665	6,596
荒川地区	20	171	18	186	20	215	12	164	18	258	30	467
神林地区	20	192	20	170	20	270	263	2,738	273	2,795	275	2,647
朝日地区	16	306	16	344	16	349	83	1,140	83	922	97	1,068
山北地区	12	174	14	199	16	142	24	282	28	258	44	397
合計	88	1,217	89	1,246	92	1,344	963	10,119	1,017	10,224	1,111	11,175

各地区共通の介護予防事業として、「元気クラブ」と「介護予防教室（転倒予防教室）」を実施している。介護予防教室は集落公民館等を会場とし、住民同士が集う身近な通いの場となっている。

【参考】介護保険新規申請者の申請理由

	H28年度	H29年度	H30年度
総数	890人	923人	804人
1位	認知症 212人 (23.8%)	認知症 204人 (22.1%)	認知症 167人 (20.8%)
2位	骨折・転倒 114人 (12.8%)	脳血管疾患 133人 (14.4%)	脳血管疾患 133人 (16.5%)
3位	関節疾患 113人 (12.7%)	骨折・転倒 109人 (11.8%)	関節疾患 88人 (10.9%)

新規申請理由の第1位は認知症で変わらないが、新規申請者に占める割合は減少傾向にある。第2位の脳血管疾患の割合が年々増加している。

8 家族介護支援

（1）介護者のつどい：介護者同士で悩みを共有し、情報交換する機会を持ち介護者の負担を軽減する。

	H27		H28		H29	H30
	市全体	各支所	市全体	各支所	市全体	市全体
実施回数	1	26	1	2	1	4
参加者延人数	26	94	36	18	29	62

（2）認知症カフェ：認知症の人やご家族、認知症に関心がある人など地域のどなたでも気軽に立ち寄り話ができる。

	H28	H29	H30	H30内訳
開催回数	31	35	24	荒川1、村上12、朝日7、山北4
参加延人数	362	575	391	荒川11、村上292、朝日38、山北60

介護事業所やリハビリ大学等でも、独自に認知症カフェを開催している。

（3）認知症サポーター養成講座：認知症の理解と支援、地域で支えるための方法を学ぶ。

	H27	H28	H29	H30
実施回数	20	14	20	18
参加延人数	840	539	564	734

職域や看護学校、地域の茶の間等から依頼がある。